

水質関連システム（報告系）

公共用水域業務 操作説明書

データ入力支援ツール

2024 年 4 月

環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室

本マニュアルは、データ入力支援ツール(以降、本ツール)の使用方法について説明しています。

動作環境

項目	ソフトウェア、バージョン
オペレーティングシステム	Windows10
必要なアプリケーション	Microsoft Excel 20102013、2016

ツールのダウンロード手順

本ツールは、水質関連システム(報告系)の報告系の公共用水域業務のからダウンロードしてください。

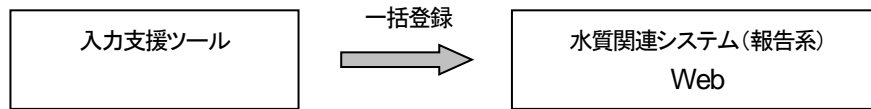


操作手順

- 1 水質関連システム(報告系)にログインします。
- 2 トップ(業務選択画面)で、「公共用水域業務」をクリックします。
- 3 様式メニューで、「様式一覧」をクリックします。
- 4 様式一覧画面で、「データ入力支援ツール(公共用水域).xls」の[ダウンロード]をクリックします。
- 5 名前を付けて保存ダイアログで、保存先を指定し、[保存]をクリックします。
→ ファイルがダウンロードされます。

ツール利用の留意点

- ◆ 本ツールは、水質関連システム(報告系)にデータを取り込むためのツールです。



- ◆ 他の Excel ファイルを開いた状態で、本ツールを操作しないでください。誤動作の原因となります。
- ◆ ファイル名は、変更しても問題ありません。
- ◆ 入力、編集後、ファイルを閉じる前に内容を保存してください。
- ◆ 入力、編集の留意点は、操作説明の章を参照してください。(→P.8 以降)
- ◆ 本ツールは、マクロ(プログラム)を使用してデータのチェックなどを行っています。

マニュアルの表記

画面・項目名などの表記

本書の表記について、説明します。

- ◆ 画面に表示される項目名は、「」で囲んで表記しています。
- ◆ 選択項目は、“ ”で表記しています。
- ◆ ボタンは、[]で囲んで表記しています。

その他

説明は、マウスを使用して操作を行うことを前提としています。

画面サンプルは、Windows7 を使用しています。

目次

公共用水域業務	1
1 本ツールについて	2
2 シート構成	3
3 使用手順	6
4 ファイルを開く	7
5 検体値を入力する	8
5.1 手入力・編集する	8
5.2 ファイルを読み込んで入力する	14
6 検体値をチェックする	18
7 報告用検体値ファイルを出力する	20

公共用水域業務

1 本ツールについて	2
2 シート構成	3
3 使用手順	6
4 ファイルを開く	7
5 検体値を入力する	8
6 検体値をチェックする	18
7 報告用検体値ファイルを出力する	20

1 本ツールについて

水質関連システム(報告系)の公共用水域業務に水質データ(検体値)を入力する方法は2通りあります。

- ① 水質関連システム(報告系)の検体値登録(公共用水域業務の検体値管理メニュー)から手入力する。
- ② Excel ファイルにデータを入力しておき、水質関連システム(報告系)の一括登録機能を使ってデータを取り込む。

本ツールは、②の方法で入力する場合に、水質関連システム(報告系)に取り込む水質データ(検体値)を入力するための Excel ファイルです。

本ツールでできること

検体値の手入力の他に、以下を行うことができます。

- ◆ 入力したデータのチェック
- ◆ ~~旧フォーマットの読み込み~~(使用しないでください)※1
- ◆ 国土交通省データの読み込み
- ◆ 水質関連システム(報告系)からダウンロードした検体値データの読み込み
- ◆ 本ツール内で「検体値のチェック」を行ってエラーを訂正することが出来ます。(ただし、必ずしも水質関連システム(報告系)にデータをアップロードした際にエラーが発生しないことを保証するものではありませんのでWEBのシステムのメッセージに従ってデータを整備してください)

※1:既存の入力支援ツールを流用する為、機能が残っていますが動作保障していません。

本操作説明書の記述について

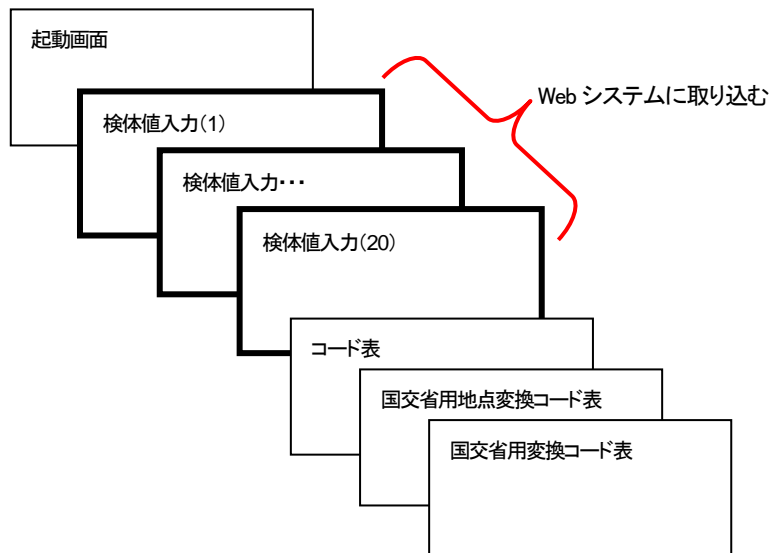
本ツールは、前述の「動作環境(必要なアプリケーション)」の通り、EXCEL のバージョンが異なっても動作するように作成されています。

この説明書内では、「EXCEL 2010」のバージョンの動作に沿って記述しています。

2 シート構成

本ツールは、以下の 6 種類のシートで構成されています。

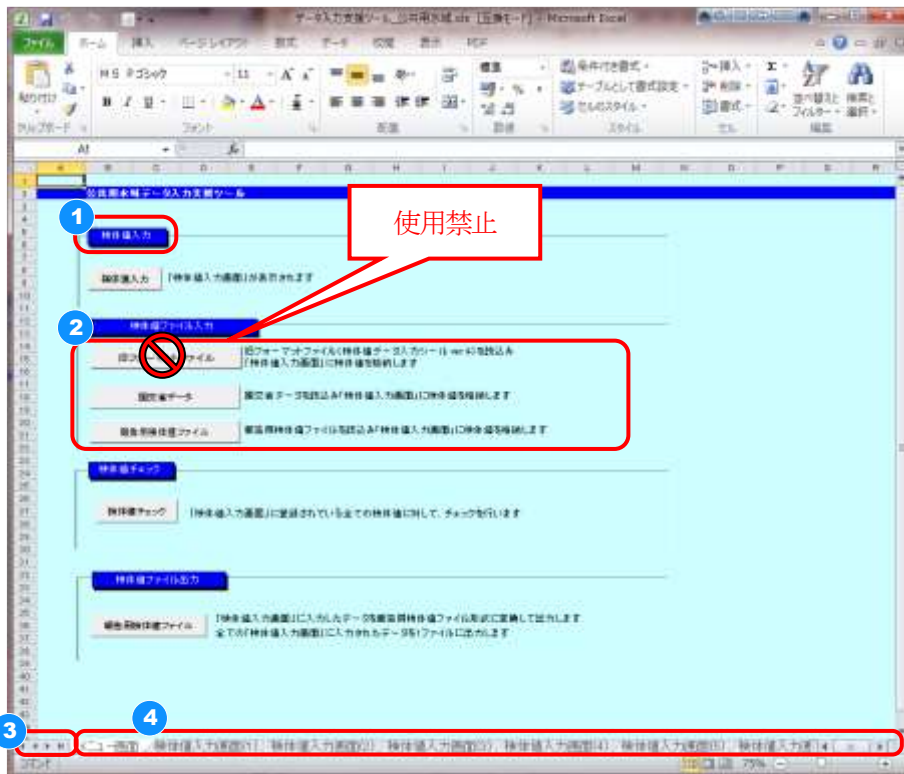
データ入力支援ツール(公共用水域).xls



次ページから、各シートの役割を説明します。

起動画面

ファイルを開くと、初めに表示されるシートです。
 検体値入力(1)シートへの切り替えボタンと、各種処理ボタンがあります。
 各ボタンの右側に、簡単な説明が記載されています。



(EXCEL 2010 画面例)

1 メニュー

青い四角は、本ツールのメニューです。4 つあります。

2 実行ボタン

実行ボタンとその説明です。メニューごとに異なります。

ボタンをクリックすると、操作が実行されます。

なお、[検体値入力]については、クリックすると「検体値入力シート(1)」に移動します。

3 シートの表示ボタン

画面下部に表示するシートを移動するボタンです。

本ツールはシート数が多いので、画面下部にすべてのシート名が表示されないため、このボタンでシートの表示範囲を変更すると便利です。

ただし、このボタンでは、実際にそのシートに移動するわけではありません。実際に移動するには、シートを表示後、シート名をクリックしてください。

◀ ▶ ...シート名の表示範囲を 1 つ右または左にずらします。

◀ ...一番前から表示可能な分だけシート名を表示します。

▶ ...一番後ろから表示可能な分だけシート名を表示します。(並び順は変わりません。)

4 シート

本ツールに含まれるシートです。シート名をクリックするとそのシートに移動できます。

検体値入力（1）～（20）

検体値データを入力するシートです。(1)～(20)まで、20シートあります。
1検体(1回の採水分)が2列に収録されます。
水質関連システム(報告系)には、これらのシートのデータを取り込みます。

コード表

入力シートで入力するときにプルダウンに表示される項目名が記載されています。
以下の10項目のコード表が収録されています。

- ◆ 都道府県コード
- ◆ 調査主体コード
- ◆ 調査区分コード
- ◆ 採水位置コード
- ◆ 測定項目コード
- ◆ 天候コード
- ◆ 流況コード
- ◆ 臭気コード
- ◆ 色相コード
- ◆ コメント

このコード表の内容が、検体値入力シートで入力するときのプルダウンメニューに表示されます。

国交省用地点変換コード表

国土交通省データを読み込む際に、水質関連システム(報告系)からダウンロードした変換テーブルを貼り付けるシートです。

このコード表にしたがって、国土交通省地点コードが地点統一番号に変換されます。

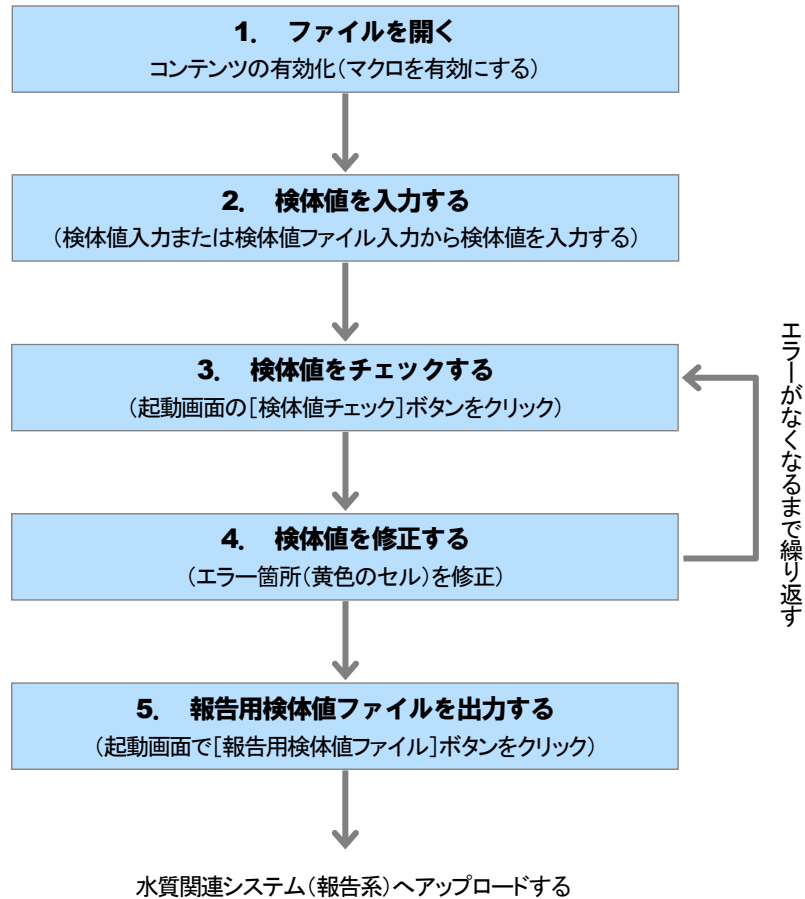
国交省用変換コード表

国土交通省データを読み込む際に利用されるシートです。

このコード表にしたがって、国土交通省用コードが水質関連システム(報告系)のコードに変換されます。

3 使用手順

本ツールの基本的な使用手順は以下のとおりです。



以降で、それぞれの手順について説明します。

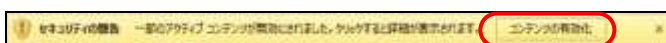
4 ファイルを開く

水質関連システム(報告系)からダウンロードしたファイルを開きます。

本ツールにはマクロが含まれていますので、ファイルを開く時は[コンテンツの有効化](EXCEL2010)を選択してください。

操作手順

- 1 水質関連システム(報告系)からダウンロードした Excel ファイルを開きます。
- 2 セキュリティの警告ダイアログが表示され場合がありますので、[コンテンツの有効化]をクリックします。



または

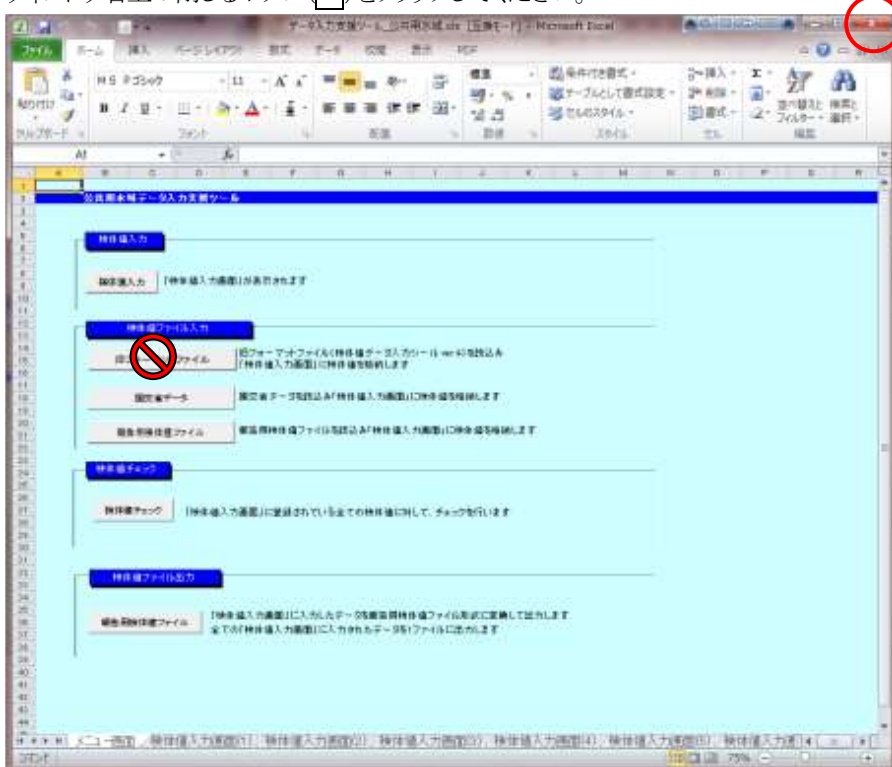


(EXCEL 2010 画面例)

→ ファイルが利用可能な状態になります。

終了するには？

ウィンドウ右上の閉じるボタン(×)をクリックしてください。



(EXCEL 2010 画面例)

5 検体値を入力する

5.1 手入力・編集する

水質データ(検体値)を入力します。

国土交通省データを読み込み、データを編集する場合も、この手順で行います。

留意点

禁止事項

水質関連システム(報告系)への取り込み処理ができなくなりますので、以下の操作は行わないでください。

- ◆ 各セルの書式の変更
- ◆ 各項目(列)の順番の変更・削除
- ◆ 黄色のセルの行の削除
- ◆ シート名の変更
- ◆ シートのコピーや削除

入力可能件数

- ◆ 1シートに最大 120 検体分入力できます。「検体値入力シート」は 1 ファイルに 20 シートあるので、1 ファイルで最大で 2400 検体分入力できます。
- ◆ 精度情報ごとに、1 シートに入力します。精度情報が 1 項目でも異なる場合は、別のシートに入力してください。

データチェックについて

- ◆ 入力時にデータチェックは行われません。
入力後、必ず「メニュー画面」の[検体値チェック]をクリックしてデータチェックを行ってください。

シートの見方

「検体値入力シート」は、以下の構成になっています。

黄色の項目は、固定項目です。

精度情報
各測定項目（水色の行）に精度情報を入力します。（黄色の行は入力しない。）

検体値
1 採水あたり 2 列使用し、「コメント」と「測定値」を入力します。
1 シートで最大 120 件入力できます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	項目コード	項目名	検出下限	定量下限	分析方法	備考	コメント	測定値	コメント	測定値	コメント
2											
3		年度									
4		都道府県コード									
5		水域コード									
6		地点コード									
7		調査主体コード									
8		採水機関コード									
9		分析機関コード									
10		採取年									
11		採取月日									
12		採取時分									
13		調査区分									
14		採取位置コード									
15		採取水深									
16	1103	天候コード									
17	1111	流況コード									
18	1112	臭気コード									
19	1113	色相コード									
20	1104	水温									
21	1105	水温									
22	1106	流量									
23	1109	全水深									
24	1114	透明度									
25	201	pH									
26	202	DO									
27	203	BOD									

測定項目
測定項目が表示されます。

操作手順

STEP3 基本情報の入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
	項目コード	項目名	検出下限	定量下限	分析方法	備考	測定データ コメント	測定データ 測定値	測定データ コメント	測定データ 測定値	測定データ コメント	測定データ 測定値
3		年度										
4		郷道府県コード										
5		水質コード										
6		地点コード										
7		調査主体コード										
8		採水機関コード										
9		分析機関コード										
10		採取年										
11		採取月日										
12		採取時分										
13		調査区分										
14		採取位置コード										
15		採取水深										
16	1103	天候コード										
17	1111	流況コード										
18	1112	臭気コード										
19	1113	色相コード										
20	1104	気温										
21	1105	水温										
22	1106	流量										
23	1109	全水深										
24	1114	透明度										
25	1201	pH										
26	1202	DO										
27	1203	BOD										

STEP4 測定値の入力

STEP2 精度情報の入力

STEP1 シートの表示

「メニュー画面」で[検体値入力]をクリックするか、入力したい検体値入力シートをクリックして表示します。

STEP2 精度情報の入力

測定データがある測定項目に対し、精度情報を入力します。

- ◆ 入力・選択の注意は、次ページ参照

STEP3 基本情報の入力

1 件目の測定データについて、基本情報の各項目を「測定値」に入力または選択します。

- ◆ 地点統一番号の各項目は、「測定値」にコードを入力すると、「コメント」に対応した地点名称が自動で表示されます(国土交通省用地点コード表に該当の地点がある場合のみ)。
- ◆ 調査区分、採取位置コード、天候コード、色相コード、臭気コード、流況コードは、「測定値」にコードを入力すると、「コメント」にそれぞれ対応した名称が自動で表示されます。
- ◆ その他の注意は、次ページ参照

STEP4 測定値の入力

1 件目の測定データについて、測定値を入力します。

- ◆ 入力・選択の注意は、次ページ参照

STEP5 2 件目以降の測定データの入力

すべての測定データについて、STEP3～4を繰り返します。

- ◆ 精度情報が 1 項目でも異なる測定データがある場合は、別シートに入力してください。

入力・選択の注意

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	項目コード	項目名	精度情報				測定データ		測定データ		測定データ	
2			検出下限	定量下限	分析方法	備考	コメント	測定値	コメント	測定値	コメント	測定値
3		年度										
4		都道府県コード										
5		水域コード										
6		地点コード										
7		調査主体コード										
8		採水機関コード										
9		分析機関コード										
10		採取年										
11		採取月日										
12		採取時分										
13		調査区分										
14		採取位置コード										
15		採取水深										
16	1103	天候コード										
17	1111	流況コード										
18	1112	風向コード										
19	1113	色相コード										
20	1104	気温										
21	1105	水温										
22	1106	流量										
23	1109	全水深										
24	1114	透明度										
25	1201	pH										
26	1202	DO										
27	1203	BOD										

A 精度情報（測定項目（水色の項目の行））

※は条件付き必須

項目名		入力制限	入力・選択の注意
精度情報	検出下限	小数点を含めて 10桁以内 半角数字	・ 測定値≧検出下限となるように入力すること。
	※定量下限	小数点を含めて 10桁以内 半角数字	・ 「一般項目」、「pH」、「その他の項目」以外は必須。 ・ 測定値≧定量下限≧検出下限となるように入力すること。
	※分析方法	半角数字2桁	・ 「一般項目」、「その他の項目」以外は必須。
	備考	255文字以内	・ とくになし。

B 測定データ（黄色の項目の行）

※は必須

項目名			入力制限	入力・選択の注意
測定データ	コメント	(黄色のセルの各行)	右の項目は入力不可	「都道府県コード」、「調査主体コード」、「調査区分」、「採取位置コード」は、測定値を選択すると自動で表示される。
	測定値	※年度	半角数字 971～2999	・ 左記の範囲で入力すること。
		※都道府県コード	リストボックス	・ とくになし。
		※水域コード	半角数字 001～999	・ とくになし。
		※地点コード	半角数字 01～99	・ とくになし。
		※調査主体コード	リストボックス	・ とくになし。
		採水機関コード	半角数字3桁	・ とくになし。
		分析機関コード	半角数字3桁	・ とくになし。
		※採取年	半角数字4桁	・ 「年度」で指定した年度内の年を指定すること。

項目名			入力制限	入力・選択の注意
		※採取月日	半角数字 4 桁	<ul style="list-style-type: none"> ・ (例) 1 月 1 日 → 0101 ・ 「採取年」との組み合わせで、「年度」で指定した年度内の年月を指定すること。 ・ 存在する月日を入力すること。
		※採取時分	半角数字 4 桁	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24 時間制で入力すること。(例) 午後 1 時 0 分 → 1300 ・ 存在する時分を入力すること。
		※調査区分	リストボックス	・ とくになし。
		※採取位置コード	リストボックス	・ とくになし。
		※採取水深	小数点を含めて 10 桁以内 すべて半角	・ とくになし。

C 測定データ（測定項目（水色の項目の行））

項目名			入力制限	入力・選択の注意
測定データ	コメント	(水色のセルの各行)	リストボックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「天候コード」、「流況コード」、「臭気コード」、「色相コード」は入力不可。
	測定値	(水色のセルの各行)	リストボックス または 小数点を含めて 10 桁以内 すべて半角	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「天候コード」、「流況コード」、「臭気コード」、「色相コード」はリストから選択する。

○ 操作のヒント

水質関連システム(報告系)に訂正を反映させるには

- ◆ 水質関連システム(報告系)へアップロードした検体値(「測定項目(黄色の項目の行)」)を訂正する場合は、水質関連システム(報告系)から対象となる検体を削除後、「測定項目(黄色の項目の行)」を修正し、再度アップロードします。
- ◆ 水質関連システム(報告系)へアップロードした検体値(「測定項目(水色の項目の行)」)を訂正する場合は、「測定項目(水色の項目の行)」のみを修正し、再度アップロードします。

○ 次の操作

- ◆ 入力内容をチェックします。(→P.18)

検体値入力例

「検体値入力シート」への検体値の入力例です。

		精度情報				測定データ		測定データ		測定データ	
項目コード	項目名	検出下限	定量下限	分析方法	備考	コメント	測定値	コメント	測定値	コメント	測定値
年度						東京都	2009	東京都	2009	東京都	2009
都道府県コード						東京都	13	東京都	13	東京都	13
水域コード							001		002		003
地点コード							01		21		31
調査主体コード						国土交通省	010	都道府県	030	その他(経)	050
採水機関コード							009		001		005
分析機関コード							009		001		005
採取年							2009		2009		2009
採取月日							0728		0917		0525
採取時分							0905		0905		1040
調査区分						年間調査	0	補足調査	1	通目調査	3
採取位置コード						流心(中央)	01	左岸	02	上層、中層	17
採取水深							0		1		10
1103 天候コード						快晴	01				
1111 流況コード						通常の状況	00				
1112 臭気コード						無臭	011				
1113 色相コード						無色	001				
1104 気温							15				
1105 水温							10				
1106 流量							1				
1109 全水深							10.5				
1114 透明度							2.6				
1201 pH				01		<	7.2		7.3		7.1
1202 DO		0.5	0.5	01		<	8.7		8.5		9.9
1203 BOD		0.5	0.5	01		<	1.8		1.8		1.4
1204 COD		0.5	0.5	01		<	7.1		4.4		4.3
1205 SS		1	1	01		<	56		12		32
1206 大腸菌数			0	01		<	1700		220		490

精度情報

各測定項目の精度情報を入力します。

コメント

「測定項目(天候、流況、臭気、色相)」にコードを入力すると、コードに対応するコメントが表示されます。
 「測定項目(天候、流況、臭気、色相以外)」の「コメント」には空白または「<」、「>」を入力します。

注意点

- 各種コード類と「天候コード」、「流況コード」、「臭気コード」、「色相コード」は、選択してください。「空」でも登録は可能ですが、コメント欄に表示されないコードを入れることはできません。

5.2 ファイルを読み込んで入力する

(1) 国土交通省データ入力

国土交通省が測定したデータが入力された国土交通省データは、Excel から CSV 形式で出力されたものです。このファイルを読み込み、検体値入力シートに検体値を入力します。

留意点

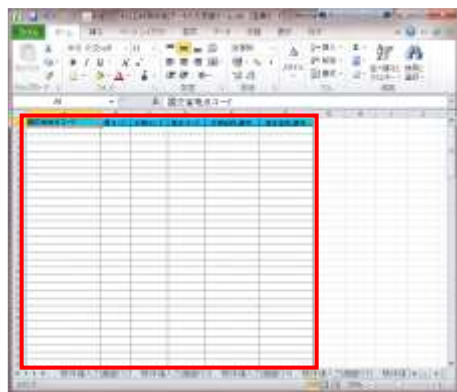
- ◆ 国土交通省データにない項目（検出下限、定量下限、分析方法、備考、採取機関コード、分析機関コード）は、設定されません。必要に応じて読み込み後に入力してください。
- ◆ 国土交通省データを読み込む前に、国土交通省地点コード変換テーブルを水質関連システム（報告系）からダウンロードしてください。

操作手順

STEP 1 国交省地点コード変換テーブルを最新化する

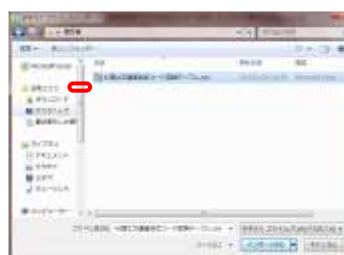
- 1 水質関連システム（報告系）の地点検索機能から、国土交通省地点コード変換テーブルをダウンロードします。手順は、水質関連システム（報告系）の操作説明書を参照してください。
- 2 本ツールを開きます。
- 3 既存のデータを破棄して最新化する場合のみ、「国土交通省用地点変換コードシート」を表示して、既存のテーブルの 2 行目以降をすべて削除します。
- 4 メニューから、「データ」>「外部データの取り込み」>「テキストファイル」を選択します。

→ データファイルの選択ダイアログが表示されます。



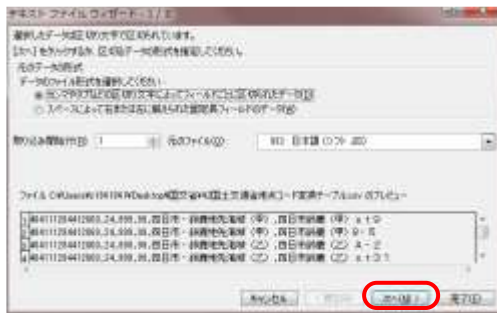
(EXCEL 2010 画面例)

- 4 水質関連システム（報告系）からダウンロードした国土交通省地点コード変換テーブル（CSV 形式）を選択し、[インポート]をクリックします。

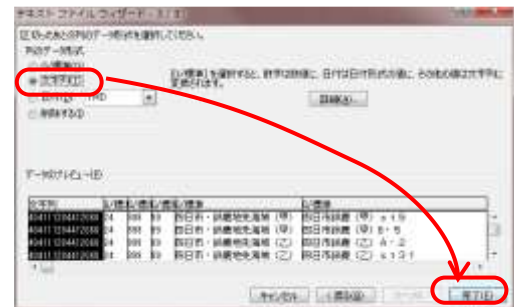
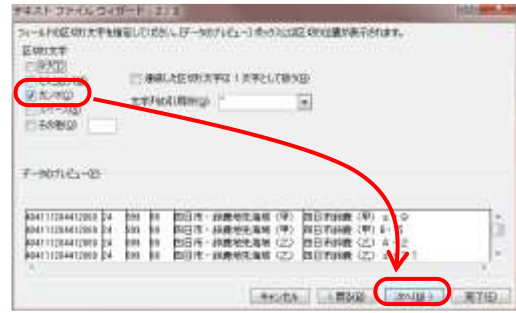


(EXCEL 2010 画面例)

→ テキストファイルウィザード 1/3 が表示されます。




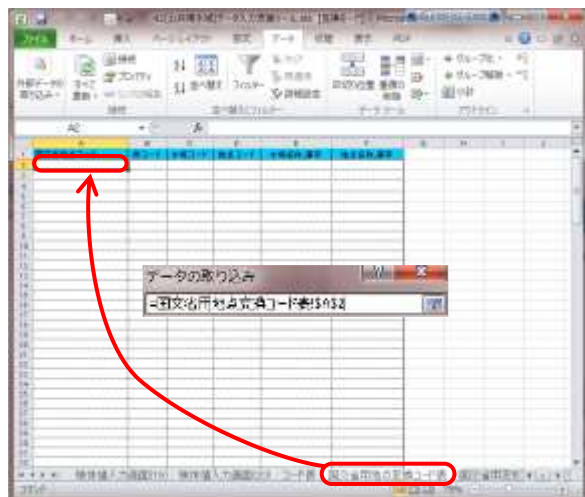
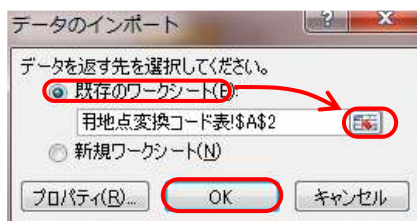
(EXCEL 2010 画面例)



- 5 そのまま[次へ]をクリックします。
→ テキストファイルウィザード2/3が表示されます。
- 6 「区切り文字」で「カンマ」のみをチェックし
(他のチェックは外す)、[次へ]をクリックします。
→ テキストファイルウィザード3/3が表示されます。
- 7 「列のデータ形式」で「文字列」を選択し、
[完了]をクリックします。
→ データのインポートダイアログが表示されます。

既存のデータを破棄して最新化する場合


- 8 「既存のワークシート」を選択し、 をクリックします。

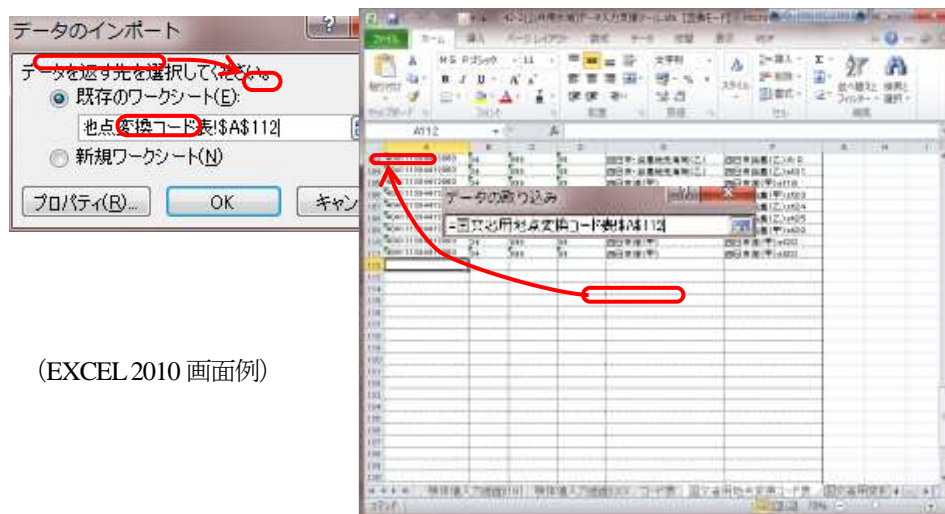


(EXCEL 2010 画面例)

- 9 「国土交通省用地点変換コードシート」を表示し、2行目の1列目のセルを選択して[Enter]キーを押します。
- 10 データのインポートダイアログに戻るので、[OK]をクリックします。
→ 読み込んだテーブルのデータが貼り付けられます。

既存のデータに追加する場合

8 「既存のワークシート」を選択し、 をクリックします。



(EXCEL 2010 画面例)

9 「国土交通省用地点変換コードシート」を表示し、最終行の次の行の 1 列目のセルを選択して[Enter]キーを押します。

10 データのインポートダイアログに戻るので、[OK]をクリックします。

→ 読み込んだテーブルのデータが貼り付けられます。

STEP2 国土交通省データを読み込む

1 国土交通省データを準備します。



(EXCEL 2010 画面例)

2 「メニュー画面」を表示し、[国交省データ]をクリックします。

3 ファイルを開くダイアログが表示されるので、読み込む国土交通省データを指定し、[開く]をクリックします。

→ 検体値入力シートに、国土交通省データファイルの内容が入力されます。

○ 操作のヒント

- すでに検体値入力シートに値が設定されている場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。

○ 次の操作

- ◆ 編集が必要な場合は、編集します。(→P8)
- ◆ 編集しない場合は、入力内容をチェックします。(→P.18)

(2) 報告用検体値ファイル

水質関連システム(報告系)からダウンロードした検体値ファイルを読み込み、検体値入力シートに検体値を入力します。

留意点

- ◆ 同じ検体(年度、都道府県コード、水域コード、地点コード、調査主体コード、採取年、採取月日、採取時分、調査区分、採取位置コード、採取水深が同じ)の検体値は同じ列に格納されます。
ただし、同じ検体で同じ測定項目に既に値が設定されている場合は、別の列に格納されます。
(この場合は、検体値チェックを実施すると重複エラーとなります。)
- ◆ 入力可能な検体数は、720 です。入力ファイルにそれ以上のデータが入っている場合には、先頭から720検体分のみ入力されます。

操作手順

- 1 水質関連システム(報告系)の検体値検索機能を利用して、読み込む報告用検体値ファイルを出力します。
手順は、水質関連システム(報告系)の操作説明書を参照してください。



(EXCEL 2010 画面例)

- 2 「メニュー画面」を表示し、検体値ファイル出力の[報告用検体値ファイル]をクリックします。
- 3 ファイルを開くダイアログが表示されるので、読み込む報告用検体値ファイルを指定し、[開く]をクリックします。
→ 検体値入力シートに、報告用検体値ファイルの内容が入力されます。

○ 操作のヒント

- ◆ すでに検体値入力シートに値が設定されている場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。

○ 次の操作

- ◆ 編集が必要な場合は、編集します。(→P8)
- ◆ 編集しない場合は、入力内容をチェックします。(→P.18)

6 検体値をチェックする

検体値入力シート(1)～(20)に入力されているすべての検体値について、チェックを行います。
水質関連システム(報告系)にデータを取り込む前に、必ずデータチェックを実行し、エラー部分を修正してください。

チェックの結果、問題があるセルは、黄色で塗りつぶされます。
セルにマウスをあわせると、コメントが表示されるので、内容を確認してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	項目コード	項目名	精度情報				測定データ		測定データ		測定データ	
2			検出下限	定量下限	分析方法	備考	コメント	測定値	コメント	測定値	コメント	測定値
3		年度										
4		都道府県コード					青森県	02	水質コードを入力してください。			
5		水域コード										
6		地点コード										
7		調査主体コード										
8		採水範囲コード										
9		分析範囲コード										
10		採取年										
11		採取月日										
12		採取時分										
13		調査区分										
14		採取位置コード										
15		採取水深										

エラー箇所

コメント

留意点

必須項目について

必須項目が入力されていない、または必須項目にエラーがある状態で水質関連システム(報告系)へ取り込んでしまうと、エラーの解消に大変手間がかかります。

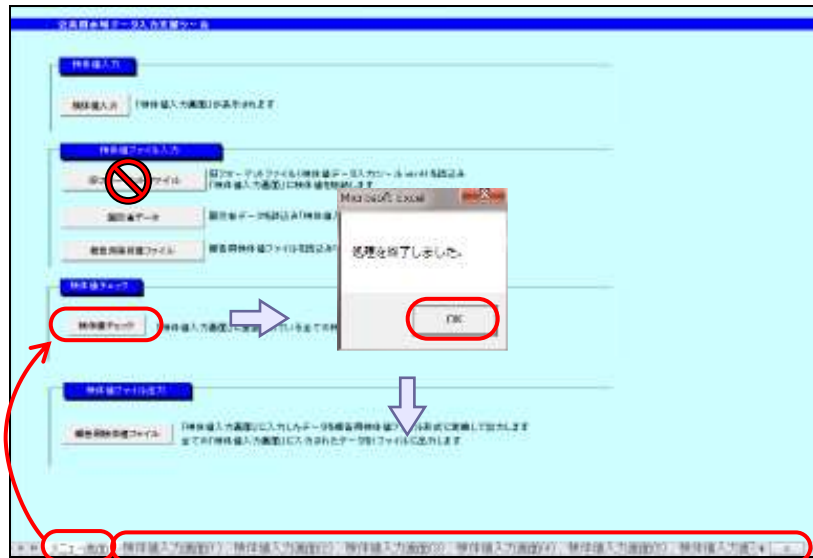
効率的に作業を進めるためにも、本ツールでエラーを解消してから水質関連システム(報告系)へ取り込んでください。

重複エラー

以下の項目がすべて重複するデータは、重複エラーとなります。

年度、都道府県コード、水域コード、地点コード、調査主体コード、採取年、採取月日、採取時分、調査区分、採取位置コード、採取水深

操作手順



(EXCEL 2010 画面例)

- 1 「メニュー画面」を表示し、[検体値チェック]をクリックします。
→ チェックが開始されます。完了すると、メッセージが表示されます。
- 2 [OK]をクリックし、メッセージを閉じます。
- 3 検体値入力シートでエラーを確認します。
エラーがある場合は、修正し、エラーがなくなるまで検体値チェックを行ってください。

○ 次の操作

- ◆ すべての検体値データについてエラーがなくなったら、報告用検体値ファイルを出力します。

7

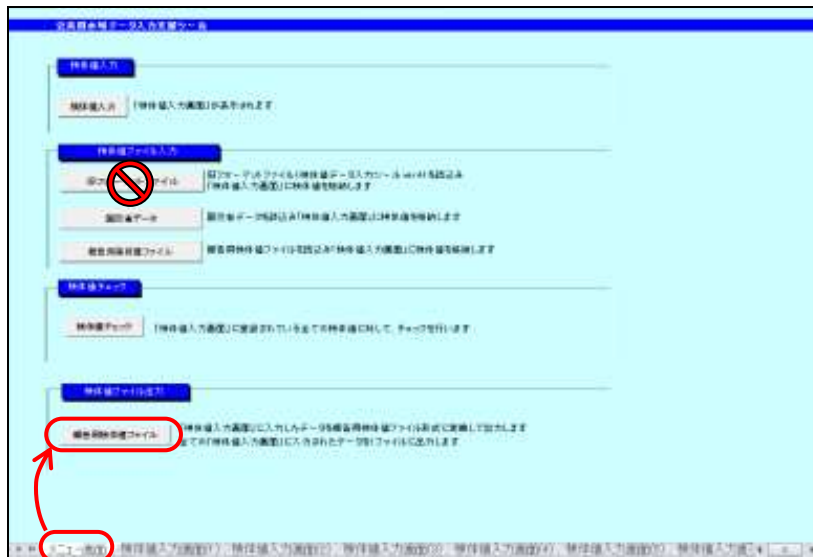
報告用検体値ファイルを出力する

検体値入力シートに入力したデータを水質関連システム(報告系)に取り込むために、報告用検体値ファイル形式で出力します。

留意点

- ◆ すべての検体値入力シートに入力されたデータが1ファイルに出力されます。
- ◆ 透明度以外の一般項目(天気、気温、水温、流量、全水深、色相、臭気、流況)のコメントは出力されません。
- ◆ “<”、“>”以外のコメントは出力されません。

操作手順



(EXCEL 2010 画面例)

- 1 「メニュー画面」を表示し、[報告用検体値ファイル]をクリックします。
- 2 名前を付けて保存ダイアログが表示されるので、保存先を指定し、[保存]をクリックします。
→ 指定した場所にファイルが出力されます。

○ 次の操作

- ◆ 出力したファイルを水質関連システム(報告系)に取り込みます。
手順は、水質関連システム(報告系)の操作説明書を参照してください。

水質関連システム(報告系) 公共用水域業務 操作説明書

データ入力支援ツール